

## 故郷を愛し、自ら生き生きと 学習に取り組む生徒の育成



—地域人材を生かした支援の工夫を通して—  
宮崎県西米良村立西米良中学校

### 1 はじめに

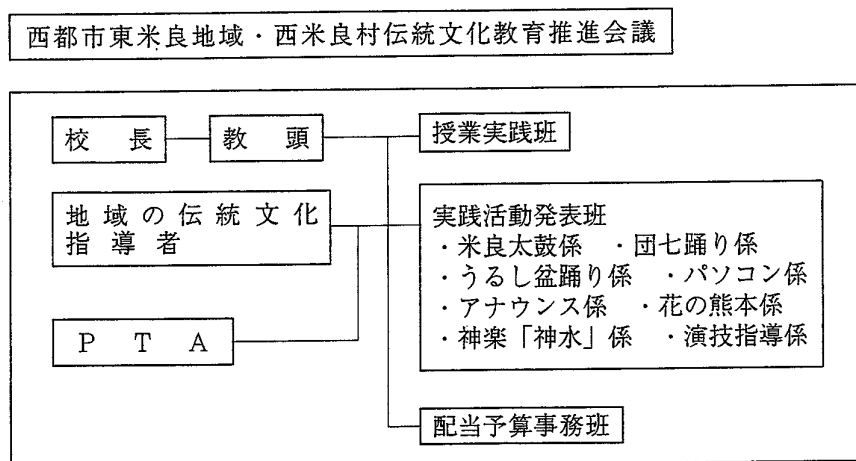
本校区は、隣接の4校区とともに平成9・10年度伝統文化教育推進地域に指定され、本校は、「故郷を愛し、自ら生き生きと学習に取り組む生徒の育成—地域人材を生かした支援の工夫を通して—」の研究主題のもと、実践研究に取り組んできた。

西米良村は豊かな自然に囲まれた山村地域であり、古くからの慣習や伝統文化が数多く継承されている。県の無形文化財に指定されている「西米良神楽」やその神楽を基に創作された「米良太鼓」、竹原地区に伝承されている「団七踊り」等、現在でも各種行事で披露されている伝統芸能も少なくない。

これら西米良村民の心ともいべき伝統芸能を、地域の方々の支援をいただきながら、子供たちに体験させていくことで、故郷への愛着心や—村民としての誇りと自覚を育てたいと考えた。また同時に、それらの活動を通して、主体的、意欲的に学習及び生活全般に取り組む生徒を育成したいと考えた。

### 2 研究組織

伝統文化教育推進事業の研究は、授業実践と実践活動発表会の開催という2本柱で進めるため、以下のような研究組織を作った。



### 3 研究経過

研究経過は、下表のとおりである。

| 年度     | 月  | 日    | 曜             | 主 な 研 究 内 容                                    |
|--------|----|------|---------------|--|
| 平成9年度  | 7  | 3    | 木             | 竹ぼうき作り   |
|        | 8  | 1・2  | 金・土           | 作小屋体験学習  |
|        | 8  | 3    | 日             | 湯前中学校との交歓会で米良太鼓発表                              |
|        | 9  | 21   | 日             | メラリンピックで米良太鼓発表                                 |
|        | 12 | 7    | 日             | 西米良村小中合同学習発表会                                  |
|        | 12 | 13   | 土             | 特別養護老人ホーム訪問                                    |
|        | 12 | 5~20 | 金・土           | 各地区での神楽に参加                                     |
|        | 2  | 1    | 日             | 児湯郡PTA研究大会で米良太鼓発表                              |
|        | 2  | 2~   | 月~            | 西米良神楽「神水」練習                                    |
| 平成10年度 | 4  | 28~  | 火~            | 竹原地区「団七踊り」、小川地区「うるし盆踊り」、郷土の歌「花の熊本」、「菊池唱歌」の練習開始 |
|        | 6  | 7    | 火             | クラブ活動で竹とんぼ・一輪挿し製作                              |
|        | 7  | 7・8  | 金・土           | うるし兄弟人形作り                                      |
|        | 8  | 2    | 日             | 湯前中学校との交歓会で米良太鼓発表                              |
|        | 8  | 7・8  | 金・土           | 作小屋体験学習  |
|        | 9  | 17   | 木             | 郷土資料集での授業実施                                    |
|        | 9  | 27   | 日             | メラリンピックでの米良太鼓発表                                |
|        | 10 | 1    | 木             | 伝統文化教育の推進経過パネル製作                               |
|        | 11 | 14   | 土             | 西米良村ふるさと祭りに神楽「神水」参加                            |
|        | 11 | 21   | 土             | 参観日にプレ伝統文化実践活動発表会を実施                           |
|        | 11 | 29   | 日             | 伝統文化実践活動発表会（県立芸術劇場）                            |
|        | 12 | 12   | 土             | 特別養護老人ホームを訪問し、神楽、歌などを発表                        |
|        | 12 | 15   | 火             | 保育実習で3年生が保育園訪問                                 |
|        | 12 | 5~25 | 金・土           | 各地区の神楽に参加                                      |
| 12     | 21 | 月    | クラブ活動で郷土料理の学習 |  |

- ・ メラリンピックと呼ばれる体育大会は、小学校、中学校及び地域を含めた村全体で実施している。
- ・ 12月の休日に実施している特別養護老人ホームの訪問では、高齢者と生徒との交流を図っている。
- ・ 作小屋体験学習は、夏休みに1年生とその保護者を対象に行っている。  
昔、米良地域では、山仕事のために「作小屋」と呼ばれる別家で1年のうちの長い期間を過ごしていた。竹製の食器を製作して使うなど、その昔ながらの生活を泊まりがけで経験する。

## 4 研究内容

### (1) 伝統文化関連授業及び行事の実践

伝統文化教育推進のため、各教科や道徳、クラブ活動、創意の時間などに、積極的に地域の方々を指導者として招き、以下のような活動に取り組んだ。

#### ア 国語科

「米良郷土史かるた」の作成に関する話を聞き、かるた大会を行った。

#### イ 社会科

・1501年から幕末に至るまで米良地域一帯を領していた菊池一族の業績を中心に、江戸時代後半から明治時代前半の郷土の先人について調べ学習を行い、プレゼンテーションソフトを使って発表した。

#### ウ 音楽科

故郷への思いを歌った「花の熊本」、郷土を愛する心を歌った「菊池唱歌」、昔ながらの作業中に歌われた「木おろし唄」など、郷土に歌い継がれている歌について学んだ。

#### エ 保健体育科

西米良神楽三十三番のうちの一つである「<sup>かんすい</sup>神水」の舞を全校生徒が習得し、参観日に保護者に披露した。

#### オ 道徳

伝統文化教育推進会議で作成した道徳用の郷土資料集や、教材「菊池武夫の生き方と米良の人々」を利用し、郷土愛について学んだ。

#### カ クラブ活動

##### (ア) ふるさとクラブ

地域の伝統技術継承者を学校に招き、男子は竹とんぼの製作、女子は竹を使った一輪挿しの製作を行った。また、郷土料理の調理実習も行った。

##### (イ) ビデオ鑑賞クラブ

西米良神楽のビデオを鑑賞し、感想を発表し合った。

##### (ウ) パソコンクラブ

インターネットを活用し、伝統芸能に関して他校との交流を行った。

#### キ 創意の時間

教科やクラブ活動で扱えない伝統文化を創意の時間で実践した。前述した「米良太鼓」、 「団七踊り」や小川地区の初盆の家で踊られる「うるし盆踊り（尻ふり踊り）」を練習した。そのうち、「米良太鼓」は、隣接する熊本県の湯前中学校との交歓会やメラリンピック、西都・児湯郡のPTA大会等で披露した。「団七踊り」、「うるし盆踊り」は特別養護老人ホーム訪問の際に踊り、入所者の方に好評を得た。また、地区の伝統技能をもつ方やあけぼの大学（老



地域の方を指導者として招いた活動

人会)を招いて竹ぼうき作りを習ったり、小川地区の民話「うるし兄弟」を題材とした民芸品「うるし兄弟人形」を製作したりした。竹ぼうきは、湯前中学校との交歓会でプレゼントし、うるし兄弟人形は、駅伝の九州大会参加校に勝利のお守りとして寄贈し、喜ばれた。

(2) 伝統文化実践活動発表会の開催

○ 発表内容 本校発表「米良太鼓」、「故郷米良唄綴り」

発表内容の練習については、創意の時間やクラブ活動の時間を中心に、地域の指導者を招いて行った。オープニングで発表した「米良太鼓」については、年度前半を中心に練習を行った。

「故郷米良唄綴り」については、本校の伝統となっている合唱を生かし、歌を中心に組み立てた。各パートに教師と生徒とが分かれ、それぞれで練習を行い、ある程度の形ができあがったところで、通し練習を繰り返し行った。



伝統文化実践活動発表会

5 おわりに

これらの教育活動を通して次のような成果が得られた。

- 地域の方に何度も指導をお願いした結果、保護者を含めて地域との連携が深まった。
- 伝統文化実践活動発表会という大舞台を経験することにより、生徒たちに自信が生まれ、学校生活全般において積極的な活動が見られるようになった。
- 生徒たちがこれまで以上に、自分たちの住んでいる地域への関心を深め、誇りをもつようになった。

また、今後、考えていかなければならない課題には、次のような点がある。

- このような伝統文化教育を継続していくためには、教育課程への位置付けを明確にしていく必要がある。
- 「学社連携」から「学社融合」へと発展させていくために、「総合的な学習の時間」も視野に入れた研究に取り組む必要がある。
- 地域の伝統文化継承者は、それぞれに仕事をもっており、その方々を指導者として積極的に招くためには、予算面の措置を行い、学校の取組を地域に理解していただく広報活動を充実させていく必要がある。

このような成果と課題を踏まえ、今後とも本校の特徴であるマルチメディアを駆使した最先端の教育と故郷を愛する伝統文化教育の融合を目指し、努力していきたい。